
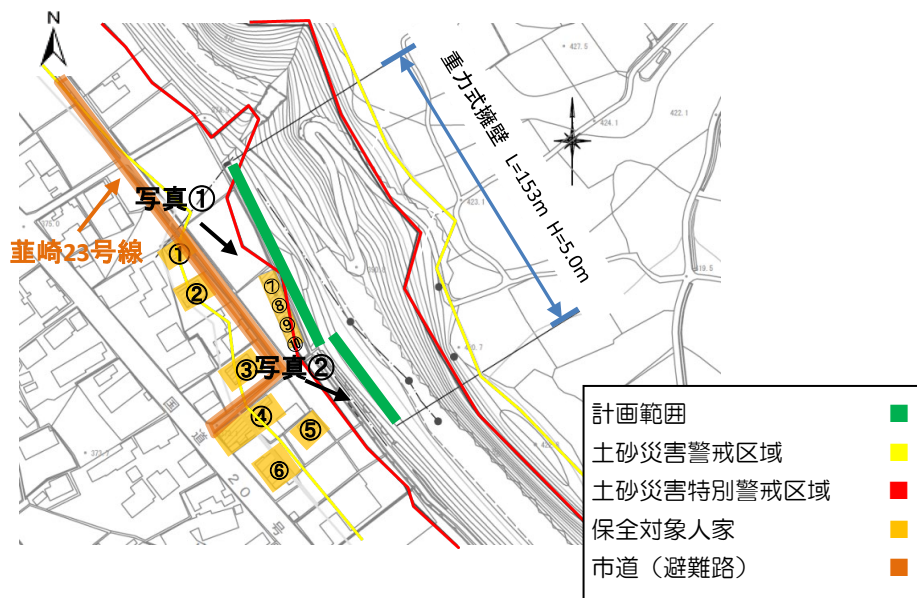


1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業〔急傾斜地崩壊対策事業（国補）〕	事業箇所	韮崎市一ツ谷	地区名	一ツ谷（ヒトツヤ）	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景 一ツ谷地区は山梨県韮崎市一ツ谷に位置する急傾斜地であり、平成23年3月7日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高4.7m、平均勾配4.2度の急傾斜地で、保全対象には人家10戸及び避難路である市道韮崎23号線があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：10戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有（市道（避難路）） （保全対象＝人家10戸、市道（避難路）L=100m） ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ー				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>200 百万円</td> <td>工期</td> <td>R5~R11</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>170 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">830 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>170 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">251 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">48 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">9 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">522 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">4.9</td> </tr> </table> ※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。 ④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地形を考慮し、必要最小限の規模とした。 ⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な計画とした。 ⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、韮崎市から受益者負担金の同意は得られている。				総事業費	200 百万円	工期	R5~R11	基準年	R4	経済効率性	費用	170 百万円	便益	830 百万円		建設費	170 百万円	一般資産被害抑止	251 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	48 百万円				公共土木施設等被害	9 百万円				その他※	522 百万円		B/C			4.9		
総事業費	200 百万円	工期	R5~R11	基準年	R4																																								
経済効率性	費用	170 百万円	便益	830 百万円																																									
	建設費	170 百万円	一般資産被害抑止	251 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	48 百万円																																									
			公共土木施設等被害	9 百万円																																									
			その他※	522 百万円																																									
B/C			4.9																																										
(2) 整備内容				総合評価																																									
①整備内容 重力式擁壁工 L=153m H=5.0m ②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和11年度 ④総事業費 約200百万円 （国費95百万円(4.75/10)、県費95百万円(4.75/10)、その他10万円(0.5/10)） ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和5年度 地形測量・地質調査・詳細設計 15 百万円 令和6年度 用地測量・用地取得・立木補償 20 百万円 令和7年度 重力式擁壁工 45 百万円 令和8年度 重力式擁壁工 30 百万円 令和9年度 重力式擁壁工 30 百万円 令和10年度 重力式擁壁工 30 百万円 令和11年度 重力式擁壁工 30 百万円				[貢献度ランク：a]																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				(4) 事業位置図等 																																									

2. 添付資料シート

【平面図】

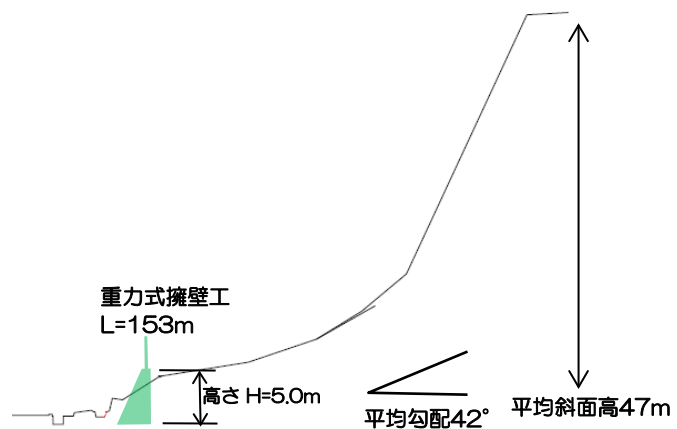


【写真①】



保全対象：人家、葦崎23号線（避難路）

【標準横断図】



【写真②】



斜面状況